

2020年度

環境経営レポート

対象期間：2020年4月～2021年3月



地球環境を考え、自然と共に生きることができる社会をめざします。

作成：2021年 8月 20日

岡山県倉敷市水江1575番地

中国化工 株式会社

2020年度 環境経営レポート 目次

I. 組織の概要	P1
II. 取り組みの対象組織及び活動	P1
III. 環境経営方針	P2
IV. 環境経営目標	P3
V. 環境経営計画	P3
VI. 環境活動結果	P4
VII. 環境経営計画の取組結果とその評価及び次年度の取組内容	P6
VIII. 環境関連法規等の遵守状況	P7
IX. 代表者による全体評価と見直しの結果	P7

I. 組織の概要

1. 事業所名及び代表者氏名

中国化工 株式会社 本社・工場

代表取締役社長 青山 孝浩

2. 所在地

〒710-0802
岡山県倉敷市水江1575番地
TEL 086-465-3555

3. 環境管理責任者及び事務局

環境管理責任者
取締役 羽柴 秀人

事務局

環境安全・エンジニア部
部長 原田 京右
TEL 086-465-3555

4. 事業の概要（認証・登録範囲）

粘着テープ及び粘着ラベル原反の製造・加工
球状微粒子の製造

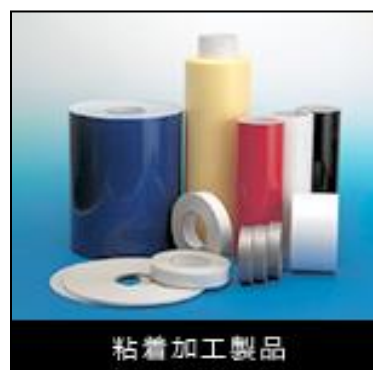
5. 事業の規模

生産能力

粘着テープ	1,500万㎡/年
球状微粒子	18t/年

従業員数 91人(2021年3月現在)

敷地面積 24,786㎡



II. 取り組みの対象組織及び活動

1. 組織: 中国化工株式会社 本社・工場
2. 対象外: なし
3. 活動: 粘着テープ及び粘着ラベル原反の製造・加工
球状微粒子の製造

Ⅲ. 環境経営方針

当社は、環境への配慮を重要な経営施策の一つとして位置付け、事業活動を通じてその実践に努め、常に地域の方々との共生を目指します。

1. 製品の全ライフサイクルにおいて適切な管理を行うため、環境管理体制を整備し、環境汚染の予防及び継続的改善に努める。
2. 事業活動における環境汚染物質の排出量・廃棄量の削減を図るとともに、省エネルギー・省資源にも努める。
3. 関連する環境法規制及び協定その他要求事項を遵守する。
4. 環境目標を設定し活動を推進するとともに定期的な見直しを行う。
5. この環境方針を従業員に周知徹底させる。

— この環境方針は、第三者の要求により公開する —

制定日： 2020年6月2日
中国化工株式会社
代表取締役社長
青山孝浩

IV. 環境経営目標

2020年度 環境経営目標	中期目標 (2017～2021年)
1. 廃棄物(排出量・金額)の削減 排出量2016年度比生産原単位4%減 埋立処分量の維持(対総排出量比1%以下)	2016年度比毎年1%削減継続 埋立処分量の維持 (対総排出量比1%以下)
2. 二酸化炭素排出量の削減 排出量2016年度比生産原単位4%減	2016年度比毎年1%削減継続
3. 水使用量の削減 使用量2016年度比生産原単位4%減	2016年度比毎年1%削減継続
4. 臭気対策 テープ廃ガス処理設備 処理効率の維持	処理効率維持
5. 騒音対策 会社境界域での騒音レベルの維持管理	騒音レベル維持 環境基準以下
6. 化学物質使用量管理 化学物質の使用量、排出量の管理	使用量・排出量 管理
7. 自らが生産・販売・提供する製品及びサービスに関して 鉄道輸送、まとめ輸送の促進	鉄道輸送の促進

V. 環境経営計画

2020年度 環境経営計画	
1. 廃棄物の削減	古紙分別回収 廃液リサイクル
2. 二酸化炭素排出量の削減	灯油 排ガス処理装置 燃料消費量管理 省エネボタンの活用 A重油 ボイラー 定期点検(空気比調整) スチームトラップ点検、配管保温 電力 ファン絞り運転 クリーンルーム・ドライルーム省エネ運転
3. 水使用量の削減	ボイラー給水量の管理(ドレン回収)
4. 臭気対策	排ガス処理装置定期点検の実施 排ガス処理効率の測定(2回/年)
5. 騒音対策	騒音発生装置の日常点検 騒音値測定(2回/年)
6. 化学物質使用量管理	化学物質の使用量、排出量の把握、届出 新規取扱い化学物質リスクアセスメント
7. 自らが生産・販売・提供する 製品及びサービスに関して	鉄道輸送、まとめ輸送の推進

VI. 環境活動結果

表1

項目		単位	2016年 基準年 実績	2017年 実績	2018年 実績	2019年 実績	2020年 目標	2020年 実績	評価
廃棄物	総排出量	t	477	498	500	420		361	—
	テープ事業	t	447	453	460	397		333	
	原単位※1	t/千m	0.0815	0.079	0.076	0.0754	0.078	0.0732	○
	原単位削減率※2	%	0%	-3.7%	-7.3%	-7.5%	-4.0%	-10.0%	
廃棄物 埋立処分量	埋立処分量	t	1.3	0.6	0.9	0.3		0.7	○
	埋立処分比率※3	%	0.3	0.1	0.2	0.1	0.5%以下	0.2	
二酸化炭素	総排出量	t-CO ₂	3,074	3,294	3,245	3,017		2,791	—
	テープ事業	t-CO ₂	2,343	2,482	2,485	2,273		2,087	
	原単位※1	t/千m	0.427	0.433	0.410	0.432	0.410	0.458	×
	原単位削減率※2	%		1.4%	-4.0%	+1.2%	-4.0%	+7.2%	
水	総使用量	t	9,838	10,686	10,990	9,523		8,289	—
	テープ事業	t	5,791	6,378	6,893	5,431		4,519	
	原単位※1	t/千m	1.056	1.113	1.138	1.032	1.014	0.993	○
	原単位削減率※2	%		5.4%	7.8%	-2.3%	-4.0%	-6.0%	

※二酸化炭素排出係数 0.709 kg-CO₂/kWh(中国電力平成26年度実績値)

※1: 原単位=排出量/テープ生産面積(t/千m)

※2: 原単位削減率=(2019年原単位-2016年度原単位)/2016年度原単位(%)

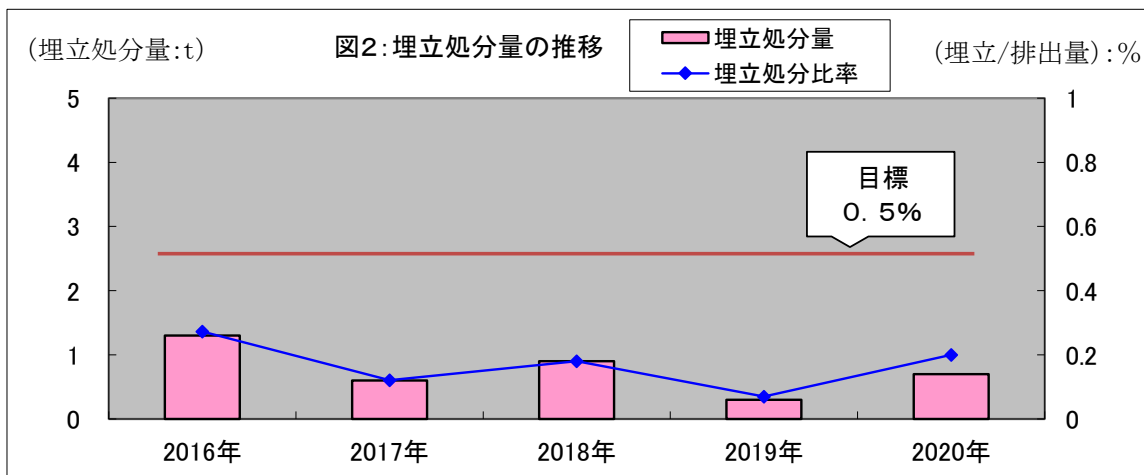
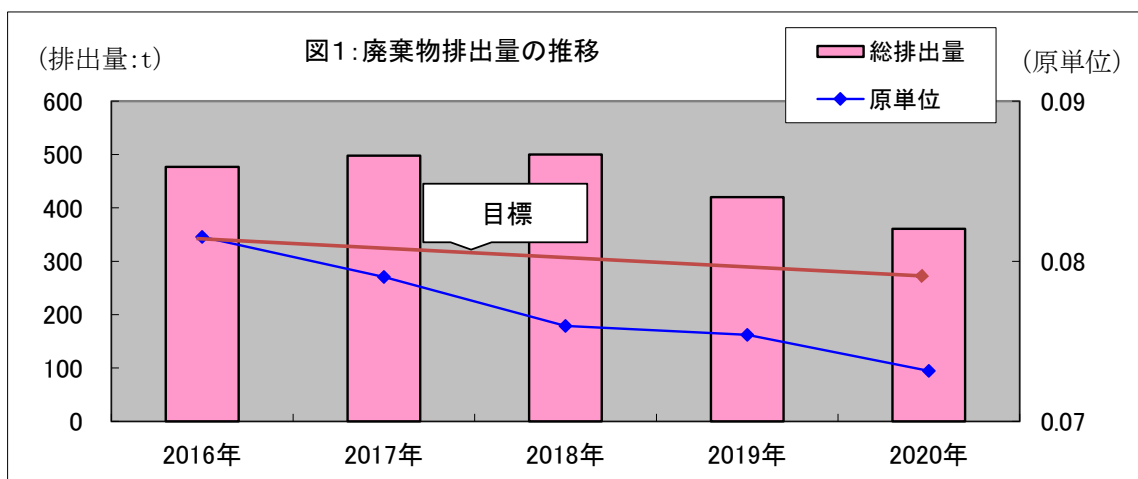
※3: 埋立処分比率=埋立処分量/廃棄物総排出量(%)

評価基準	○	達成
	△	わずかに未達
	×	未達

1. 廃棄物の削減

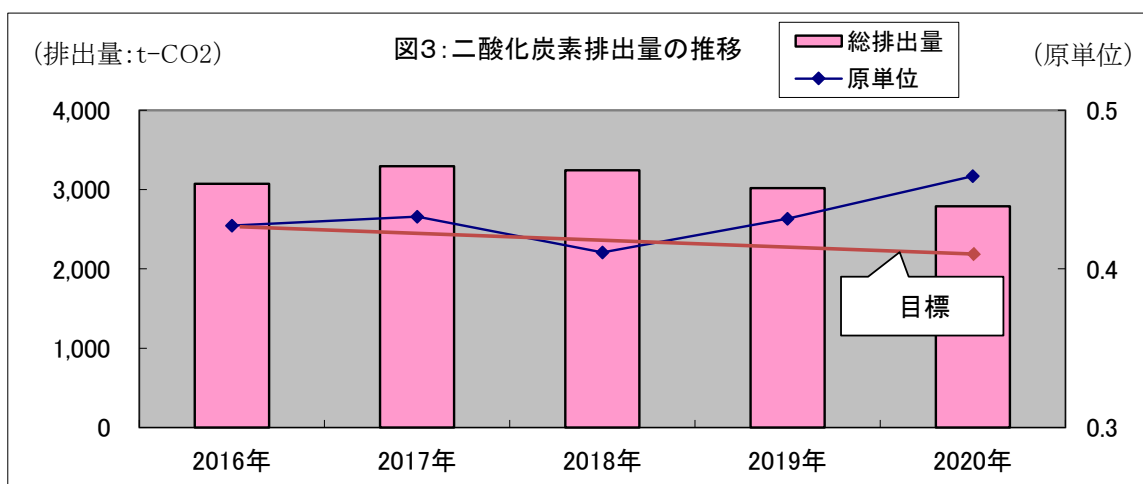
生産量原単位排出量2016年比4%削減目標に対して10%削減と目標達成した。

埋立処分量比率は目標の0.5%以下を達成した。



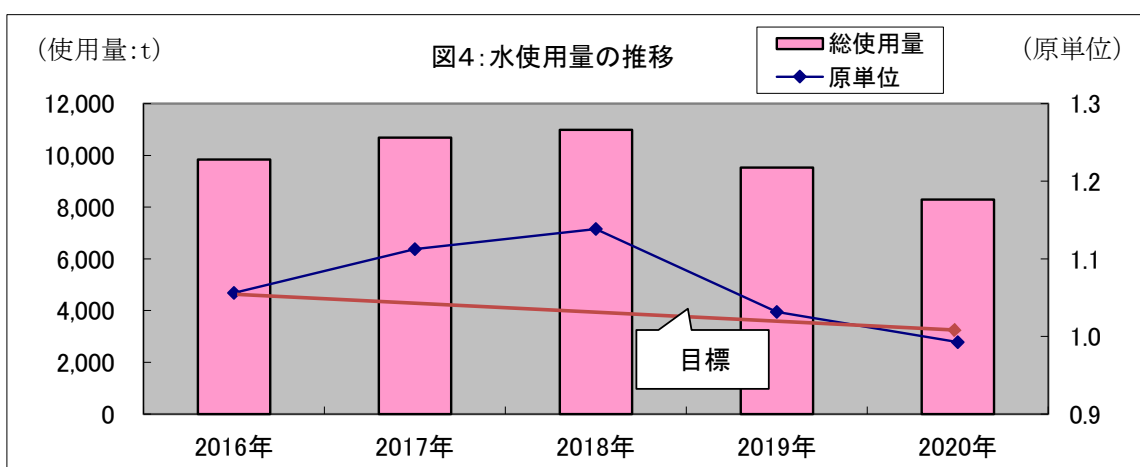
2. 二酸化炭素排出量の削減

生産量原単位排出量2016年比4%削減目標に対して7.0%増加した。



3. 水使用量の削減

生産量原単位排出量2016年比4%削減目標に対して6.0%削減した。



4. 臭気対策

排ガス処理装置の処理効率は計画通り年2回測定し問題がないことを確認した。
臭気の原因となるVOCの処理効率は目標96%に対して98%以上であった。

5. 騒音対策

敷地境界の騒音レベルは計画通り年2回測定し環境基準以内で維持していることを確認した。
敷地境界騒音基準 昼間: 65dBの基準を下回っていた。

6. 化学物質使用量管理

化学物質は使用量、排出量を把握し、届出を行った。
新規取り扱い化学物質はありませんでした。

7. 自らが生産・販売・提供する製品及びサービスに関して

製品出荷時に鉄道輸送、まとめ輸送の推進を図った。

VII. 環境活動計画の取組結果とその評価及び次年度の取組内容

2019年度 環境経営計画	評価	取組結果とその評価及び次年度の取組み内容
1. 廃棄物の削減 ・古紙分別回収 ・廃液リサイクル	○ ○	2020年度はテープ事業で生産量減少による切替ロスの増加はありましたが従来から実施している廃液リサイクル等により、生産原単位を10%削減し目標達成となりました。埋立処分量については廃棄物発生量の0.5%以下のレベルを維持しています。 次年度も収率改善による廃棄物削減及び外部リサイクルの比率向上を図ります。
2. 二酸化炭素排出量の削減 ・灯油 排ガス処理装置 燃料消費量管理 ・A重油 ボイラー 定期点検(空気比調整) スチームトラップ点検、配管保温 ・電力 ファン絞り運転 クリーンルーム・ドライルーム省エネ運転	○ ○ ○ ○ ○	2020年度はテープ事業で生産量減少による切替ロス増加などで、A重油、灯油及び電力使用量全てが増加し、生産原単位は7.0%増加し目標未達となりました。 次年度も収率改善及びボイラー更新により生産原単位削減を図ります。
3. 水使用量の削減 ・ボイラー給水量の管理(ドレン回収)	○	2020年度は蒸気ドレン回収量の増加によりボイラーの水使用量が減少しました。その結果、生産原単位は6.0%減少し、目標達成となりました。 次年度も使用量にムダ・ロスがないよう管理していきます。
4. 臭気対策 ・排ガス処理装置定期点検の実施 ・排ガス処理効率の測定(2回/年)	○ ○	設備の定期点検を実施し、処理効率が維持され排出規制値も充分クリアしていることを確認しました。 次年度も排ガス処理設備を定期的に整備して処理効率の維持を図ります。
5. 騒音対策 ・騒音発生装置の日常点検 ・騒音値測定(2回/年)	○ ○	敷地境界での騒音値を測定し、昨年の騒音レベルを維持していることを確認しました。 次年度も設備を適正に管理し、併せて測定を継続し異常のないことを確認していきます。
6. 化学物質使用量管理 ・化学物質の使用量、排出量の把握、届出 ・新規取扱い化学物質リスクアセスメント	○ -	化学物質は使用量、排出量を把握し、届出を行いました。新規取扱い化学物質はありませんでした。 使用化学物質は客先の仕様で決められているため管理を確実に行っていきます。
7. 自らが生産・販売・提供する製品及びサービスに関して ・鉄道輸送、まとめ輸送の推進	△	製品出荷時はなるべく荷物をまとめ、鉄道輸送の推進を図りました。 次年度もまとめ輸送、鉄道輸送を活用していきます。

VIII. 環境関連法規等の遵守状況

1. 環境関連法規

適用法	届出基準	該当施設	遵守評価
大気汚染防止法	ばい煙発生施設の届出 伝熱面積 10㎡以上 燃焼能力 50ℓ/h以上	ボイラー 130.9L/h … 2台 102.4L/h … 1台	○
	VOC排出施設の届出 接着の用に供する乾燥施設 送風機 5,000㎡/h以上	塗工設備 … 3基	○
悪臭防止法	第一種区域 気体排出口規制 規制対象物質 酢酸エチル、トルエン	塗工設備 … 3基	○
水質汚濁防止法	特定施設の届出	縮合反応施設 排ガス洗浄施設	○
騒音規制法 (指定地域に該当)	騒音発生機器の届出 7.5kW以上	コンプレッサー 11kW … 4台 送・排風機 90kW :1台、75kW:2台 18.5kW:2台、15kW:20台 11kW :1台、7.5kW:3台	○
振動規制法 (指定地域に該当)	振動発生機器の届出 7.5kW以上	コンプレッサー 11kW … 4台	○
労働安全衛生法	有機溶剤取扱 乾燥設備	塗工設備	○
廃棄物処理法	廃棄物の適正処理 処理委託業者との契約締結		○ ○
PRTR法	対象物質排出量の把握・報告	トルエン、ヘキサン	○
消防法	危険物施設の届出・点検	一般取扱所 … 4施設 4類1石、2石、3石 屋内貯蔵所 … 4施設 4類1石 地下タンク貯蔵所 4類2石 10kL … 1基 4類3石 21kL … 1基	○
	防火管理者・予防規定の届出		○
フロン排出抑制法	業務用空調機器:簡易点検 圧縮機7.5kW以上:定期点検	空調設備 冷凍機	○
浄化槽法	設置届、保守・点検・清掃 定期水質検査	浄化槽	○

2. 違反・訴訟の有無

当事業所に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果違反はありませんでした。また、過去3年間、関係当局よりの違反の指摘、訴訟等はありません。

IX. 代表者による全体評価と見直しの結果

2020年度はテープ事業で生産量減少による効率悪化の影響で二酸化炭素排出量は削減目標未達の結果となりました。

2021年度はボイラーの更新(燃料ガス化)を計画しており、二酸化炭素排出量削減が見込めます。

引き続き、新たな方策を探索しながら、省エネルギー・省資源に努めます。